

石下都市計画道路植栽維持管理業務仕様書

1 適用範囲

本仕様書は常総市都市整備課が施工する石下都市計画道路街路樹（大房原宿線・横堤松並線街路樹，以下街路樹という）等の維持管理業務委託に適用する。

2 目的

街路樹の環境整備として，植栽地，草地等の除草，並びに植栽の剪定等の維持管理を行い，自然環境と調和のとれた機能的な環境を維持する。

3 委託場所及び作業内容

別紙のとおり

4 委託期間

契約の日～令和 10 年 3 月 31 日

5 提出書類

（１） 着手時

①着手届

②工程表

③現場代理人及び主任技術者専任届

④業務計画書

作業内容，手順，作業方法，安全対策等について監督員と十分調整の上，提出すること。

なお，次の項目を含むこと。

（様式：年間工程表，現場組織票，安全管理，主要機械等，緊急時の体制及び対応等）

⑤材料使用届

（２） 毎月 ※作業内容確認のため必ず提出すること

①作業予定（作業工程表）

②実績報告（実績工程表）

③作業日報

（３） 中間払い時

①業務報告書

②総括表

③業務写真（対象期間のみ）

④材料使用届

⑤出来形平面図

⑥出来形管理集計表

(4) 竣工書類

- ①完成届
- ②年間実績工程表
- ③出来形管理報告書（出来形平面図，出来形管理集計表等）

(5) 業務内容の変更等

- ①工事打ち合わせ書（承認願い同一様式）
- ②不可抗力による損害通知書（天災その他）

・引き渡し前に天災等，受注者，発注者の責めに帰する事ができない事由により目的物等に損害が生じたときは速やかに提出すること。

必要に応じて，内容を立証する書類や写真を添付すること。

※様式については，別添を参照すること。

特に作業予定（作業工程表）については，実作業日を基に作成すること。工程表上の予備日は作業日数として計上しないこととし，予備日を設定する際には，実作業日と予備日の区別がつくようにすること。なお，予備日の設定に際しては必要最小限とし，むやみに計上しないこと。

6 監督

監督者は常総市役所都市整備課とし，本仕様書等に基づき監督を行う。

7 連絡及び指示事項

- ① 受注者は，本作業の施工にあたり，故意または重大な過失により街路樹または第三者に対し人的，物的損害を与えた場合は，賠償の責を負うものとする。
- ② 作業範囲については，受託後改めて監督員に確認することとし，安易に現場の状況で判断しないこと。
- ③ 本業務の適切な履行，進行管理を図るため，主任管理者を指定して作業の統括及び安全管理並びに監督者との連絡調整を行うこと。
- ④ 作業に当たっては，通行者および近隣居住者への影響が最小限となるようにすること。
- ⑤ 作業予定として提出している日程に変更があった際は，速やかに監督員に報告すること。
- ⑥ 本業務の実施中に不審者，不審物またはその他の破損や不具合を発見した場合は速やかに監督者に連絡すること。
- ⑦ 台風等の災害により被害が予想される場合には，復旧等緊急の要請に対応できる体制を確保すること。また，本業務の実施中に地震，雷，台風等の自然災害被害または人為的な汚染，破壊跡を発見した場合には速やかに報告すること。
- ⑧ 受注者は作業実施工程表提出時や，そのほか必要に応じて監督者と協議を行い適切に実施すること。
- ⑨ 薬剤を散布する際には，安全を図るため散布実施前に監督者と協議するとともに，周辺住民や通行者に対し，事前に看板やチラシ配布等により周知すること。

（特に，チラシ配布については隣接する住宅（アパート含む）全てに全戸配布を実施すること）

また散布直後は安全確保のため「注意農薬（薬剤）散布実施済み」等の表示を実施現場に適切に表示すること。なお気象条件により直ぐに薬剤が乾燥し、人体等への危険がないと確認された場合には表示の省略することができる。

※受注者は薬剤の使用に際して、農薬取締法等の関連法規及びメーカー等で定める安全基準や使用方法を厳守すること。

- ⑩ 作業実施前に第三者の関与が確認された場合（近隣住民等が自主的に草刈を実施している等）速やかに監督員に報告すること。

8 維持管理作業

(1) 除草について

- ①工程表を作成する際には、お盆や学校の夏休み明けの始業時を加味して作成すること。（特に寺社が隣接しているため、お盆の時期を注意すること。）
- ②車道から歩道の見通しの妨げにならないように管理をすること。通学路に指定されている歩道については特に注意すること。
- ③低木の中に繁茂している雑草も残らず抜き取ること。

(2) 樹木管理について

低木、高木共に民有地に侵入しているものについては伐採することとし、次年度伐採時期（特別の指示が無い限り毎年5月）まで進入のないように留意して施工すること。）

①低木刈込

- ・高さは通常部 60cm、交差点部等見通しのきかない場所 50cm とする。

②高木剪定

- ・車両および歩行者の通行に支障となる枝は切除することとし、車道部は地表より 4.5m、歩道部は地表より 2.5m の高さの空間を確保するように剪定すること。この高さの確保は車道部および歩道部全体に適用となることに留意すること。なお、この基準はいかなる時期においても確保する基準であるため、葉の含水量が増え重量が最多になり枝が垂れた状態でも基準を確保するよう、剪定の際は格別の注意を払うこと。
- ・民有地に侵入している枝、交通標識、電線等に伸長している枝についても剪定すること。
- ・ひこばえ、胴ぶき、からみ枝、徒長枝、逆枝、平行枝、枯枝等は切除すること。
- ・剪定を実施した木はビニールテープ等で判別可能な形にして監督員の確認を受けること。
- ・作業実施の前に監督員に連絡し、立会を求めること。

③高木消毒

- ・殺虫剤散布については、発生状況を加味して実施すること。
- ・殺虫剤散布の際には実施予定日の 1 週間前までに周知のための張り紙の設置および印刷物の配布を行うこと。なお、この印刷物については配布前に監督員に提出し、了解を得ること。

- ・作業実施の前に監督員に連絡し、立会を求めること。
- ・通学路街路樹の散布作業については、登下校時間帯を避けるため、9時～14時の作業を原則とする。また、散布の際には児童が登下校をする際に液だれ等の薬液で汚染することがないように注意すること。

④その他

- ・枯木、枯枝を発見した際は、速やかに監督員に報告すること。

9 その他

本仕様書に疑義を生じた場合には、監督者と協議の上、その指示に従うこと。